

大船渡湾内観測結果(No.3)

“今月の話題”

湾内の水温は10～17℃台であり、例年よりも1℃ほど高くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、先月と同程度であり、水深10m付近で高くなっています。

6月20日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

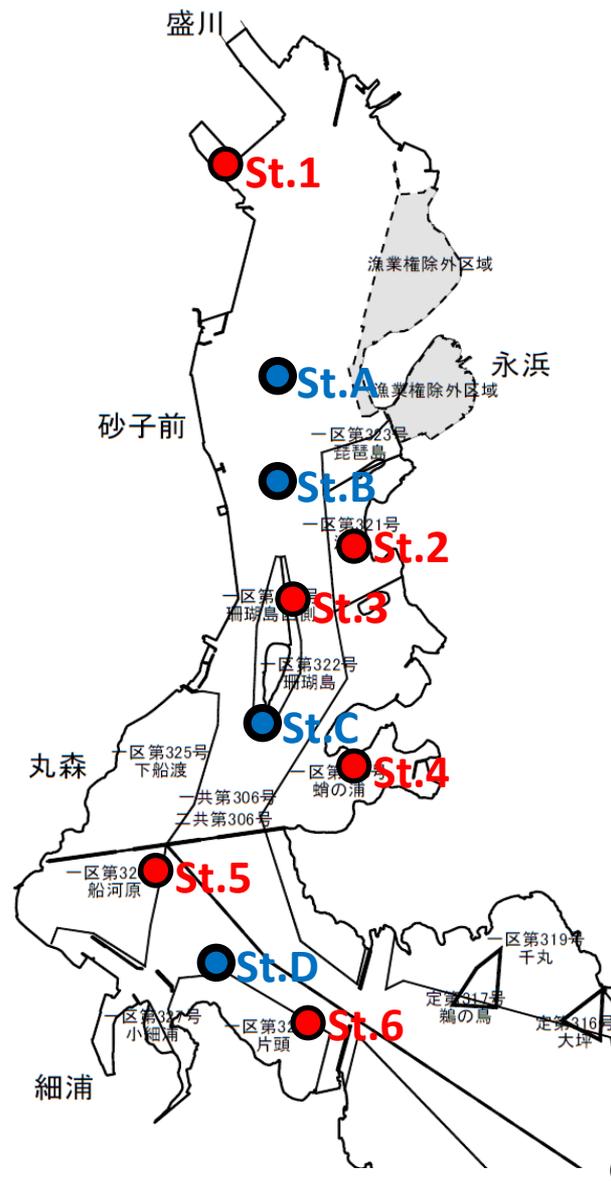
透明度は5.5～10.5mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、+2.4～+3.4mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが14.8～15.5℃、水深10mが13.5～13.9℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが+0.5～+1.2℃、水深10mが+1.4～+1.7℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年6月20日					
観測時刻		10:50	11:04	10:31	10:16	10:07	9:53
天候		曇					
気温(°C)		17.9					
風向		SSE					
風力		1					
水深(m)		8.9	24.3	27.2	18.9	25.0	37.2
透明度(m)		5.5	10.5	9.0	9.5	10.5	9.5
水色		6	5	5	5	5	4
水温(°C)	表層0m	17.6	17.7	17.6	17.6	16.8	16.4
	水深2.5m	15.5	14.9	14.8	15.3	15.1	15.4
	水深10m	-	13.5	13.5	13.7	13.8	13.9
	海底上1m	13.4	11.9	11.6	12.6	11.9	10.5
塩分	表層0m	22.7	29.9	30.3	31.1	30.2	31.7
	水深2.5m	32.0	33.1	33.1	33.0	32.8	32.6
	水深10m	-	33.5	33.5	33.6	33.6	33.6
	海底上1m	33.4	33.6	33.6	33.7	33.7	33.7
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	106.3	108.9	112.9	107.0	108.1	109.7
	水深2.5m	108.7	110.6	112.3	107.1	107.5	112.3
	水深10m	-	109.3	110.0	108.4	109.4	110.2
	海底上1m	95.9	86.9	81.3	95.3	87.0	53.9
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	4.4	1.2	1.1	1.7	1.0	1.0
	水深2.5m	1.5	0.8	0.8	0.6	0.9	1.1
	水深10m	-	1.6	2.1	2.6	2.2	2.3
	海底上1m	1.2	1.1	0.7	1.7	1.3	0.8



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

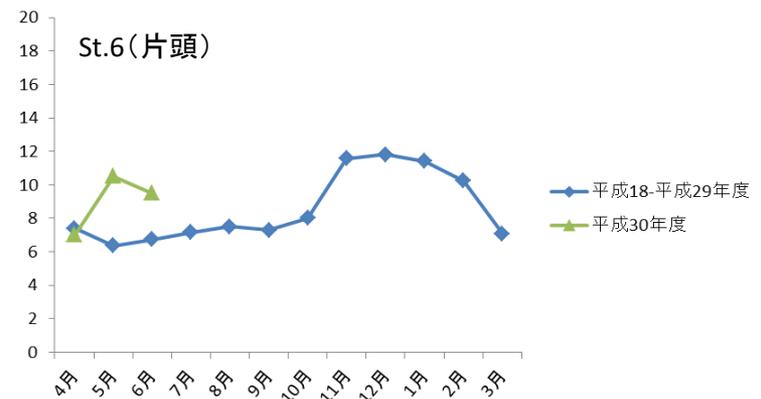
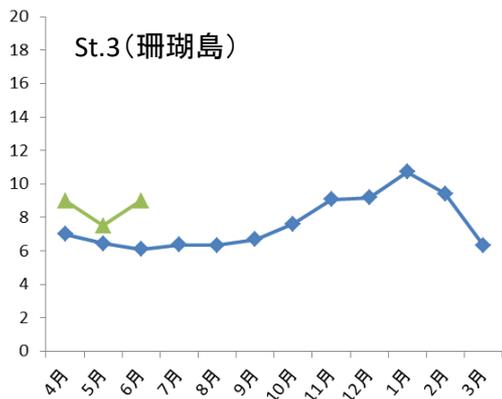
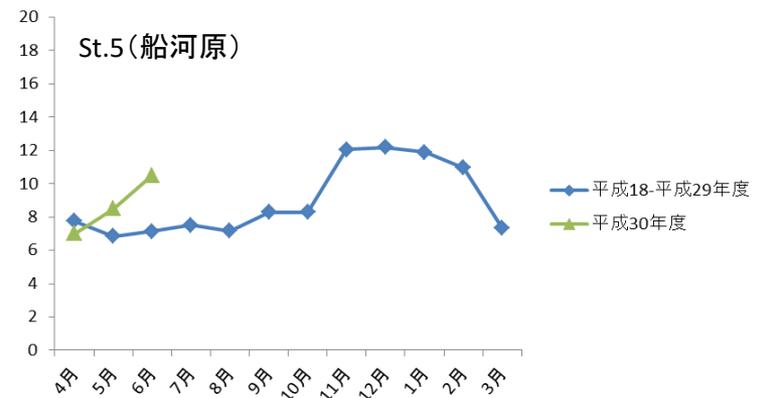
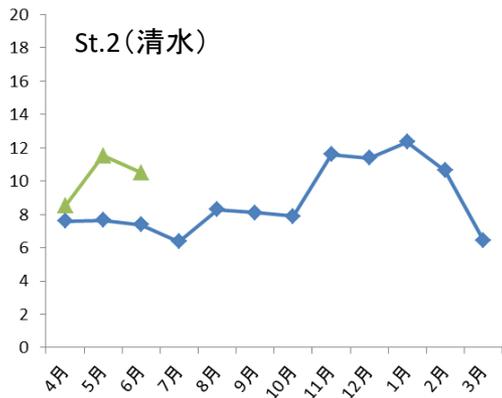
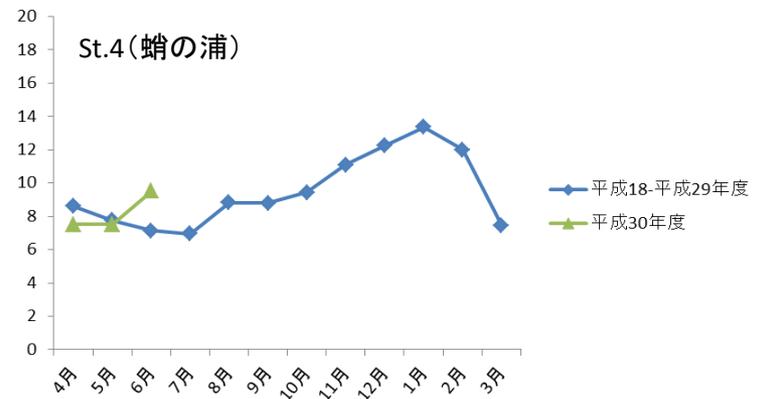
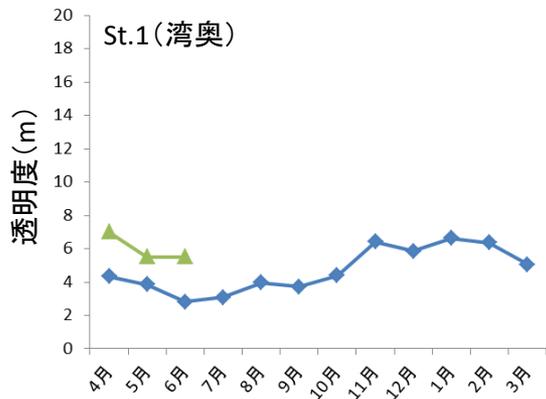


図2 透明度の推移

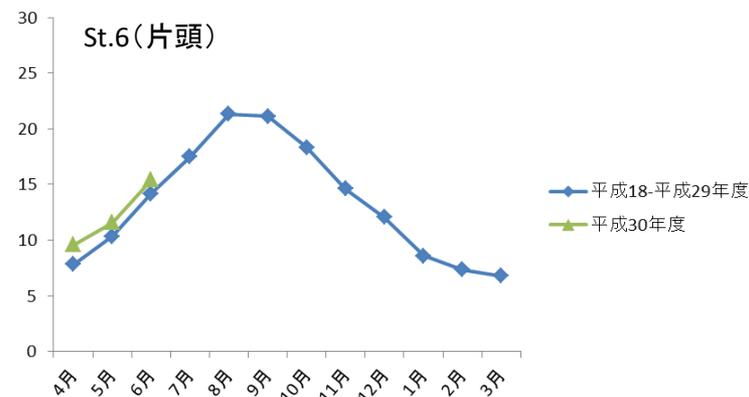
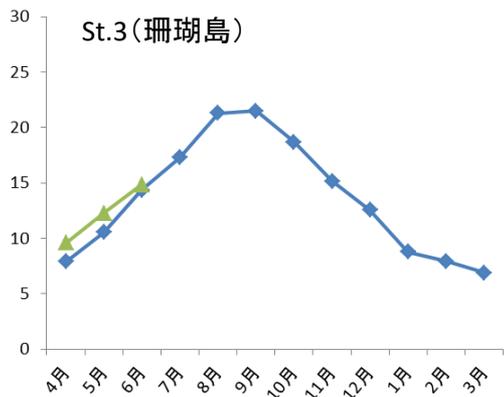
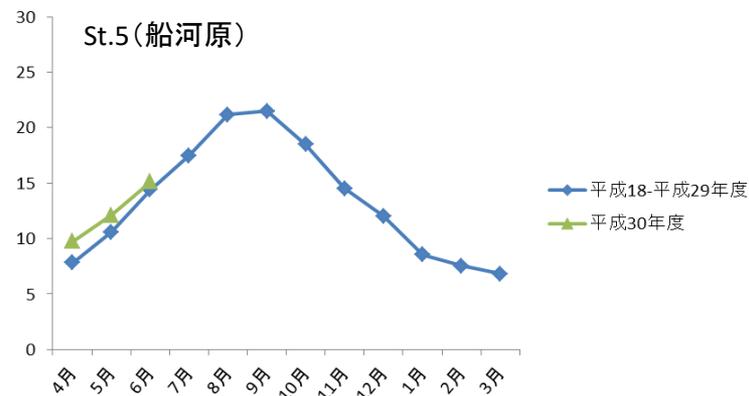
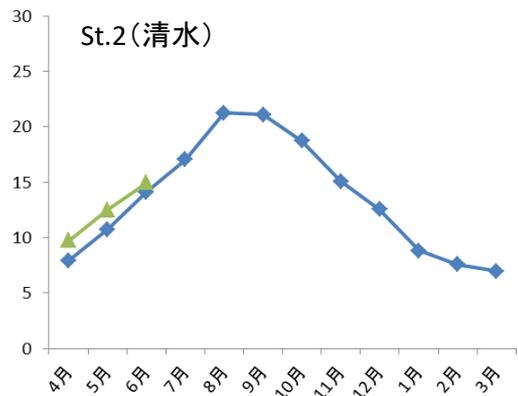
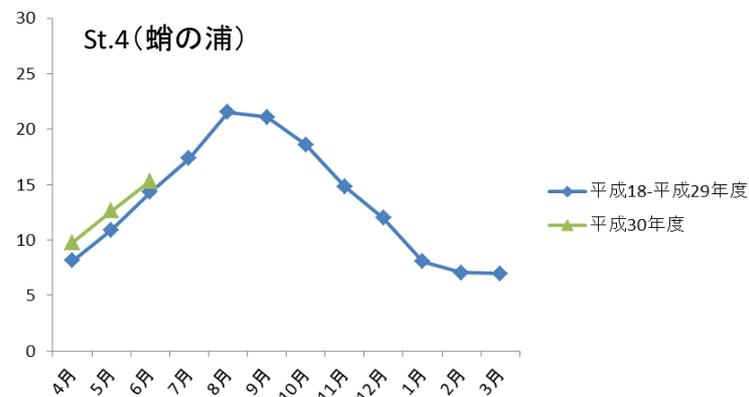
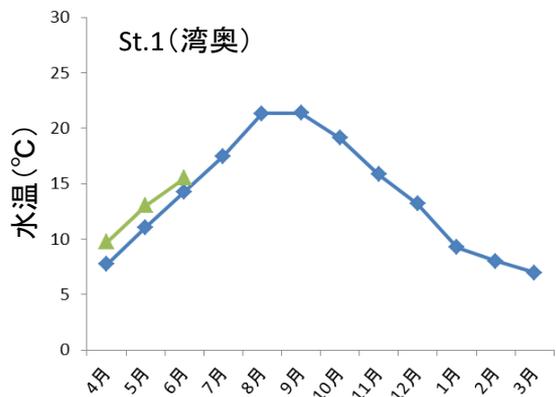


図3 水深2.5mの水温の推移

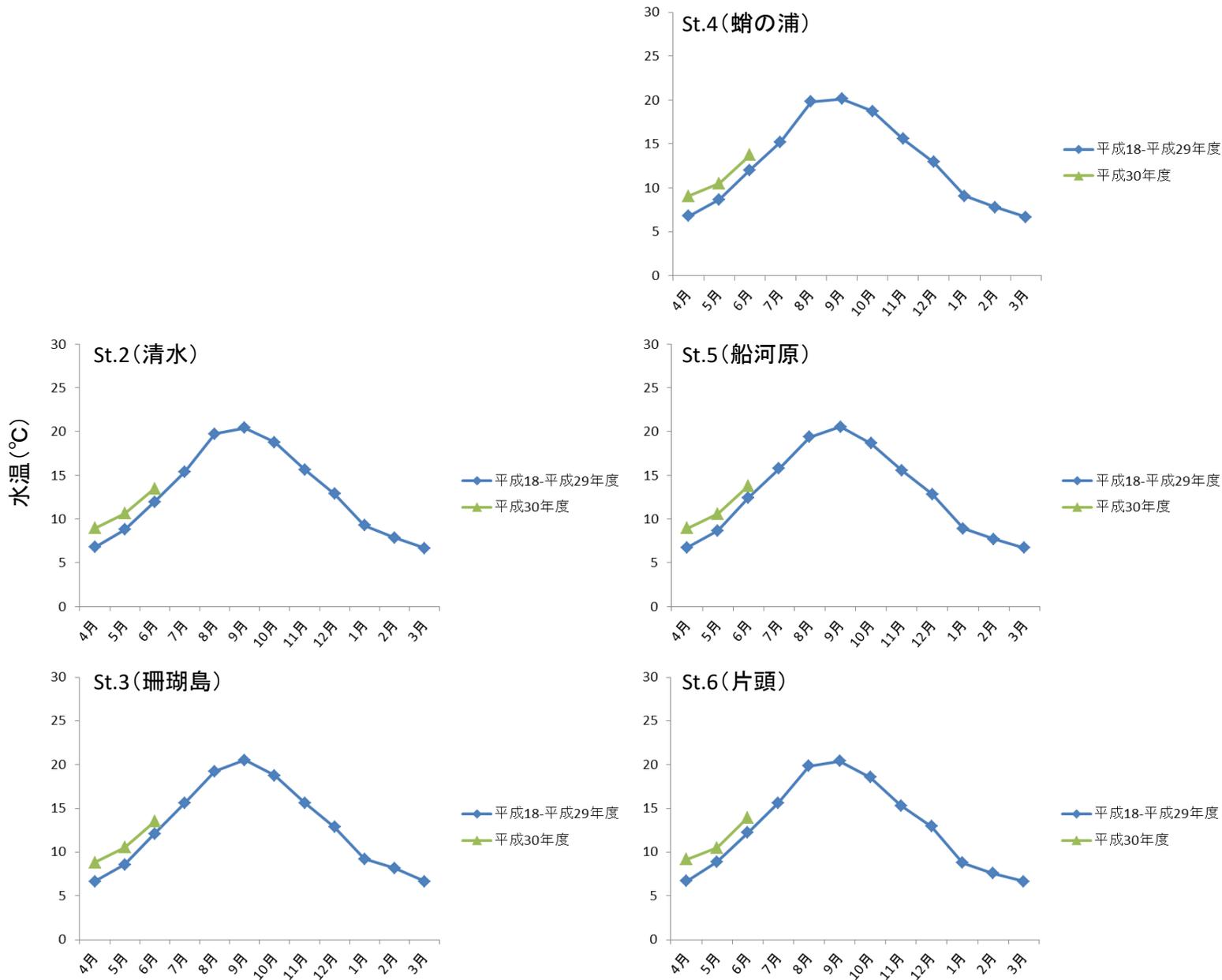


図4 水深10mの水温の推移

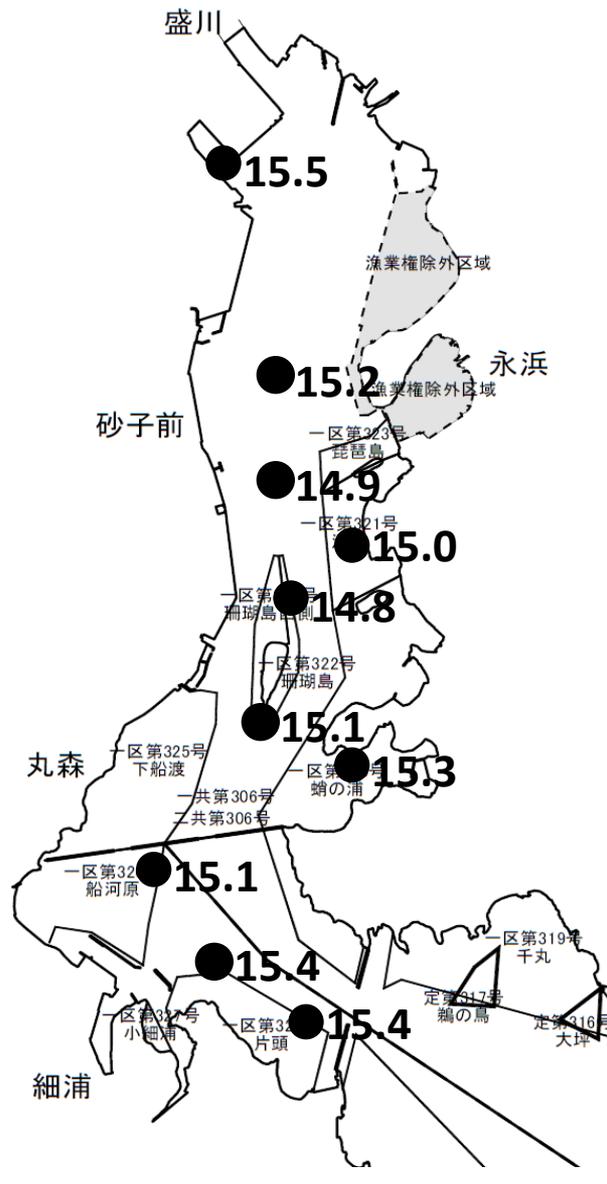


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

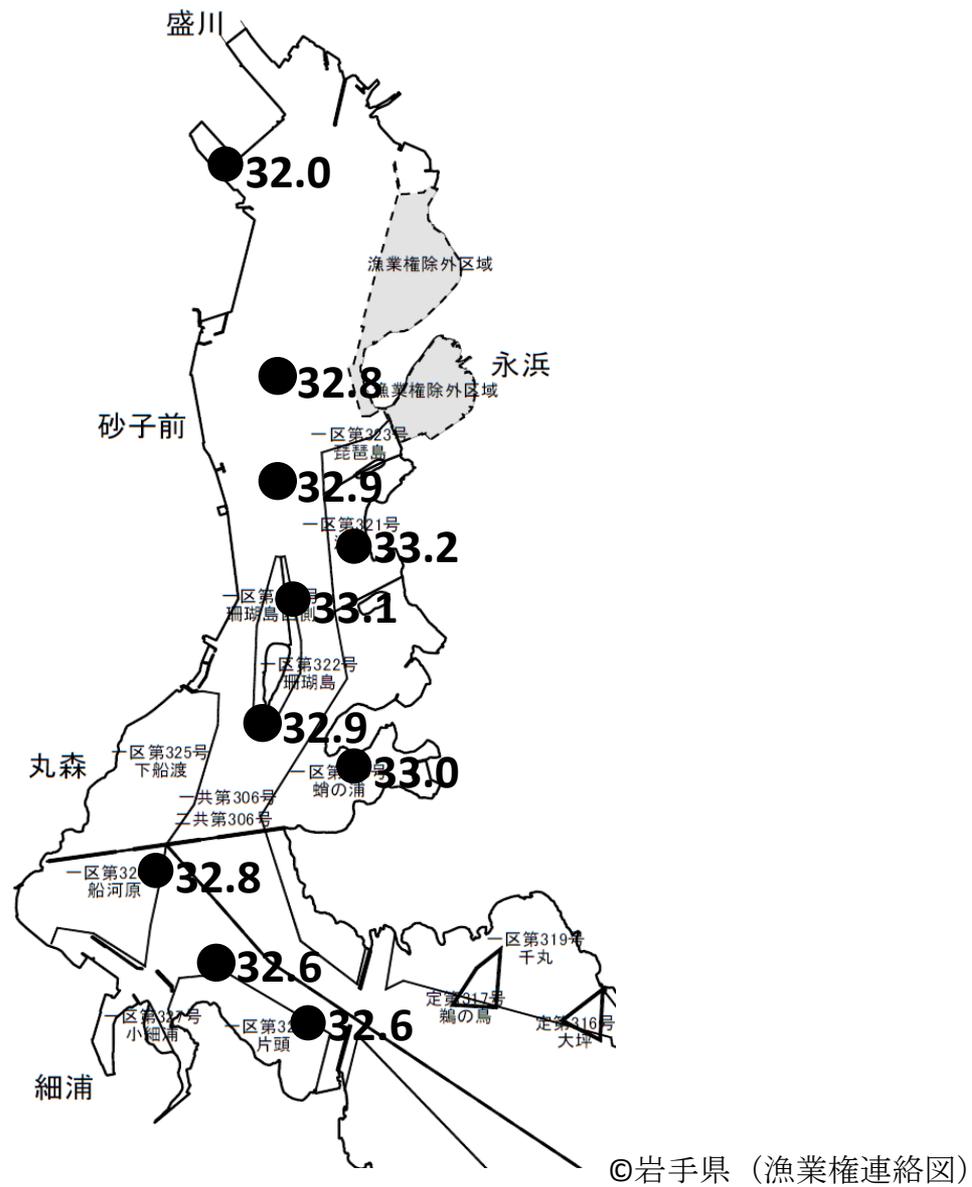


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

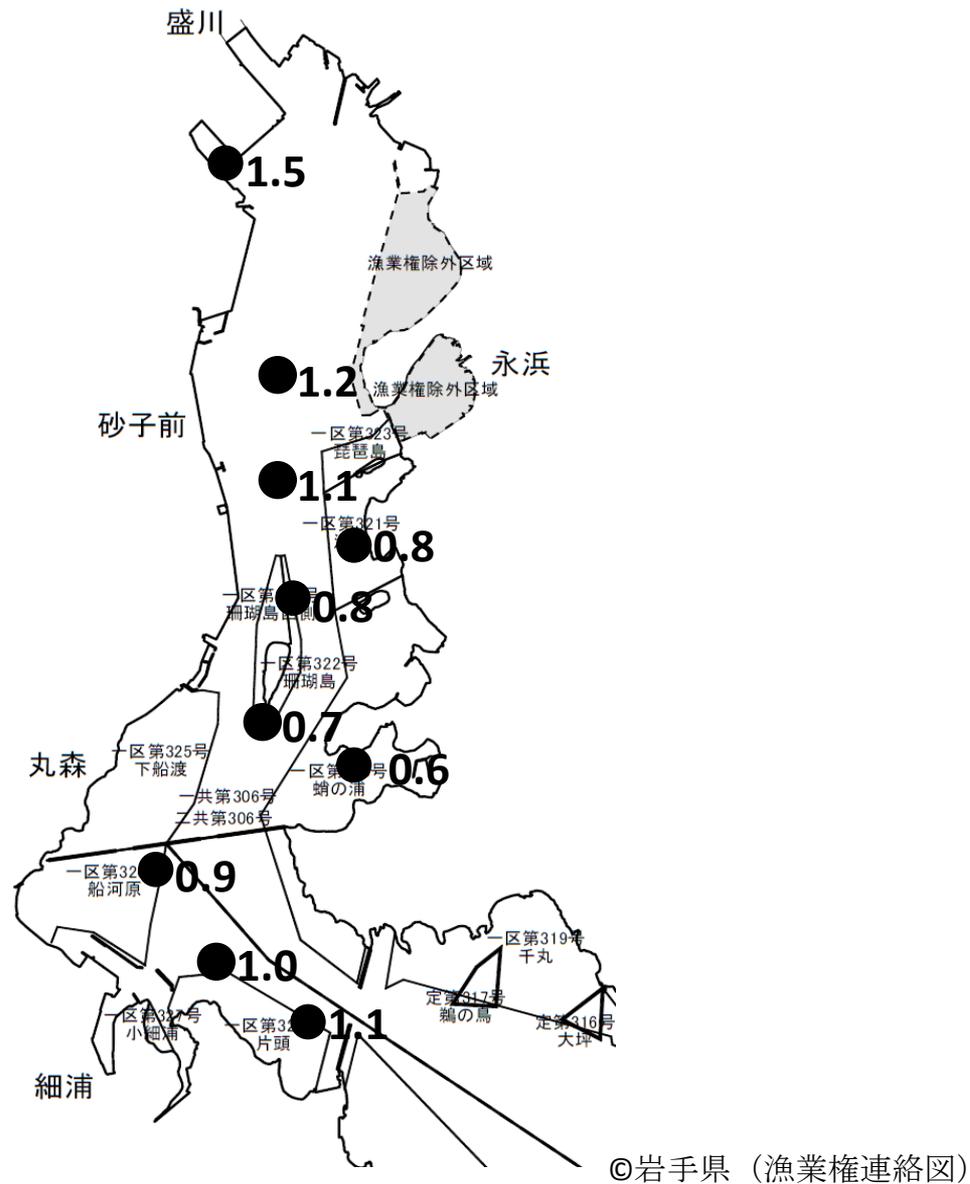


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。